

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム優楽家

目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	ホームでは、運営推進会議を活かしながら、新たな取り組みも行われている。今後も関係者と意見交換を交わしながら、より良いホームづくりにつながることを期待したい。	メンバー構成の拡充を図り、より幅広く意見、提案を聞き、取り入れ事業所の運営と利用者へのサービスの充実の為に活かしていく。	運営推進会議へ参加して頂く為、人員の定数の枠を広げ一人でも多くの方々に参加してもらえるように家族、地域住民、行政関係者に地道に根気強く、呼びかけや案内をしていく。	10ヶ月
2	33	職員間で利用者の看取りを見据えた支援に関する知識と技術の向上に継続的に取り組みながら、利用者が最期まで過ごすことができるようなホームづくりにも期待したい。	利用者が何時、終末期を迎えても本人や家族が安心してもらえるように常日頃から研修や勉強会を通じた心構えを養い対処できるよう準備しておく。	視覚や聴覚から知識を吸収できるよう、看取りに関するDVDやメディア媒体を活用する。また、定例の研修や勉強会に参加できない職員にも資料を貸し出しできるように体制を整える。	6ヶ月
3	35	ホームは、地域の方の前向きな協力も得られている関係でもある。住宅地という環境も踏まえながら、相互の関係が深まることを期待したい。	住宅地の一員として地域の自治会や行政関係者と交流を深め、利用者と事業所が地域の生活の一部として馴染むよう活動する。	近隣住民を対象に施設見学会を開催し介護施設である事業所をより深く理解して頂き、またホームの周りの遊歩道や公園の清掃活動を自主的に行い地域に根ざした事業所と認めもらう。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。